

## 地域公共交通検討協議会

日 時：令和5年9月5日（火）第七次総合計画検討協議会終了後～

場 所：筑紫野市議会 第1委員会室

出席者：赤司泰一座長、辻本副座長、八尋副座長、田中委員、横尾委員、上村委員、高原委員、西村委員、  
原口委員、白石委員、宮崎委員、山本委員、城委員、古賀委員、坂口委員、段下委員、前田委員、  
樽木委員、佐々木委員、吉村委員、赤司祥一委員、春口委員  
事務局 荒金局長、大久保課長、阿部主査  
白石委員欠席

### 《議題》

#### 1. 執行部からの報告～地区別懇談会の進め方について～

- ・ 企画政策課中尾課長より説明。
- ・ 地域懇談会用資料については、7コミュニティ分の資料ができ次第、ドライブにデータをあげる。
- ・ (横尾委員)西鉄・JRの利用者数（乗降人数）が知りたい。  
→ドライブにデータをあげる。
- ・ (田中委員)シニアクラブに開催案内をしてほしい。  
→コミュニティを通じて連絡する。

#### 2. その他

◆次回開催日程 令和5年10月13日（金）14時00分～  
令和5年10月24日（火）13時30分～

## 地域公共交通計画の策定に係るワークショップの開催について

### (目的)

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）の改正に伴い、地方公共団体の努力義務として、国が定める基本方針に即して、地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿を明らかにする地域公共交通計画を策定することが位置付けられたことを受け、本市においても計画策定作業を進めている。

この地域公共交通計画を策定するにあたり必要となる地域の移動ニーズ等を把握するため、市内7地域において次のとおりワークショップを開催するもの。

地域公共交通計画について

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（令和2年11月改正）に基づき、地方公共団体が作成する「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープラン。
- 地方公共団体は、地域公共交通計画を作成するよう努めなければならない。

計画のポイント

- ◆ まちづくり・観光振興等の地域戦略との一体性の確保
  - ・コンパクトシティ等のまちづくり施策との一体的推進
  - ・観光客の移動手段の確保等、観光振興施策との連携
- ◆ 地域全体を見渡した地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保
  - ・公共交通をネットワークとして捉え、幹線・支線の役割分担の明確化
  - ・ダイヤや運賃等のサービス面の改善による利用者の利便性向上
- ◆ 地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せ
  - ・従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源（自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等）を最大限活用
  - ・MaaSの導入等、新たな技術を活用した利用者の利便性向上
- ◆ 住民の協力を含む関係者の連携
  - ・法定協議会を設置し、住民や交通事業者等の地域の関係者と協議
  - ⇒地域の移動ニーズに合わせて、地域が自らデザインする交通へ

地域旅客運送サービス

公共交通機関

鉄道

路線バス

旅客船

コミュニティバス

デマンド交通

東用タクシー

+

自家用有償旅客運送

福祉輸送

スクールバス

福祉輸送、スクールバス、病院・高齢施設等の送迎サービスなど

+

- ◆ 利用者数、収支、行政負担額などの定量的な目標の設定と毎年度の評価・分析等の努力義務化 ⇒ データに基づくPDCAを強化

### (開催日時及び会場)

日 時	会 場
9月 4日(月) 15時30分～	二日市東コミュニティセンター 学習室1・2
9月 6日(水) 19時00分～	御笠コミュニティセンター 大研修室A・B
9月13日(水) 14時00分～	二日市コミュニティセンター 研修室1・2
9月15日(金) 19時00分～	山家コミュニティセンター 学習室1・2
9月23日(土) 10時00分～	筑紫南コミュニティセンター 研修室1・2
9月26日(火) 18時00分～	山口コミュニティセンター 学習室1・2
9月28日(木) 16時00分～	筑紫コミュニティセンター 学習室1・2

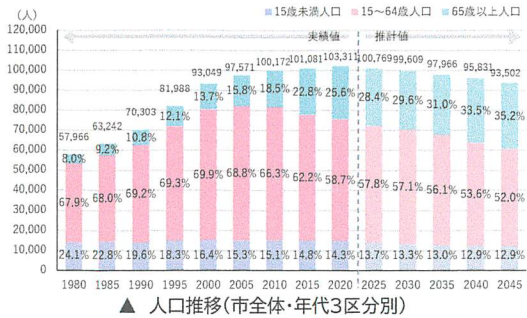
### (想定する主な参加者)

- ・各コミュニティ運営協議会の役員や健康福祉部会員
- ・各行政区の区長、民生委員、その他の役員
- ・その他、公共交通に関心のある市民

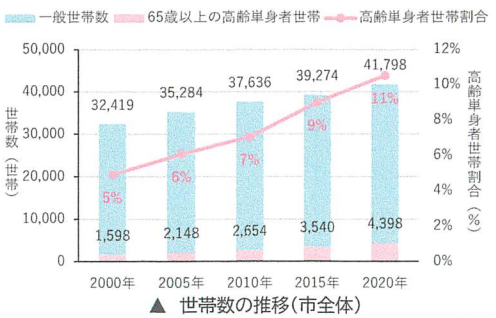
地域の概況・移動実態

筑紫野市全体の概況

- 市全体の人口は、**2025年をピークに減少傾向**に転じる一方で、今後はより**少子高齢化が進行**すると予想されています。

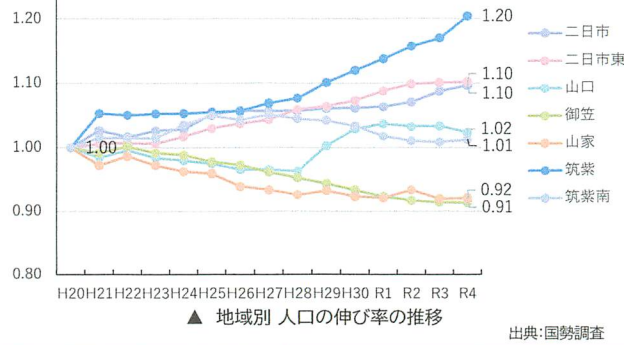
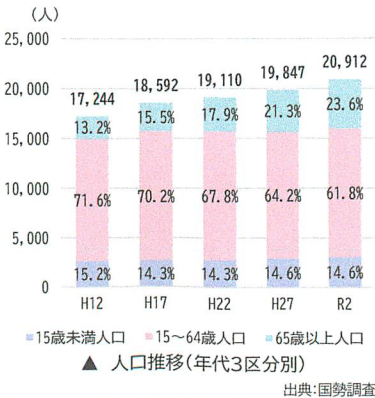
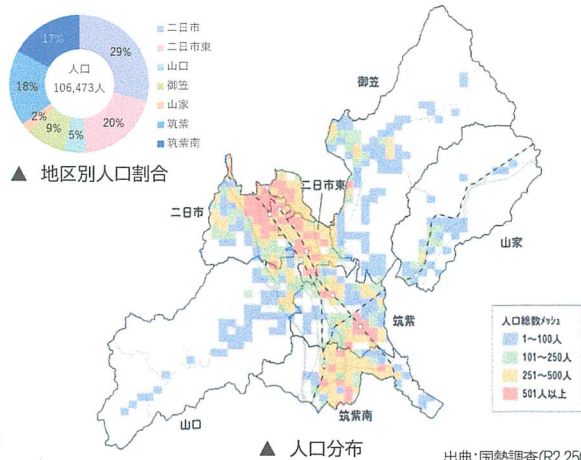


- 少子高齢化が進行する中で、**一人暮らしの高齢者の方も増加傾向**にあり、2020年には全世帯数の11%を占めています。



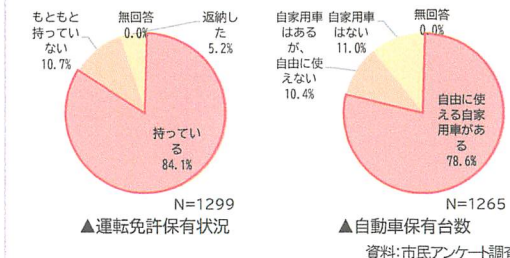
二日市東地域の人口特性

- 二日市東地域は、**市全体で約20%の人口**を占めており、**西鉄紫駅や朝倉街道駅、JR二日市駅の周辺**に人口が集中しています。
- 人口の推移をみると、H12(2000年)から、約3,000人増加していますが、15歳未満と15~64歳の人口割合は減少しており、**二日市東地域でも少子高齢化が進行**しています。
- 地区別人口の伸び率の推移をみると、他地区と比べて、**二日市東地域は緩やかに増加**していますが、今後は市全体の人口が減少するにあたり、二日市東地域でも人口が減少することが予想されます。

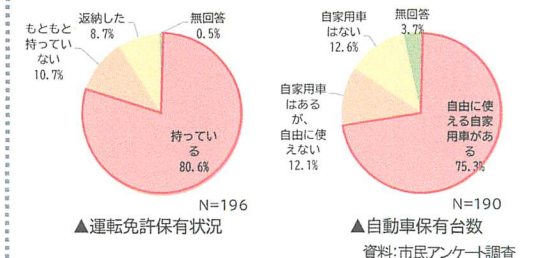


二日市東地域の移動手段・移動実態

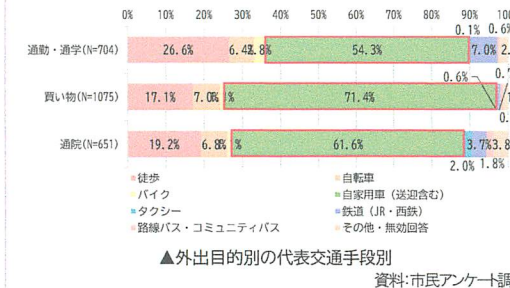
- 市全体でみると、**運転免許証を約84%の人が保有**しており、約78%の人が自家用車を1台以上保有しています。



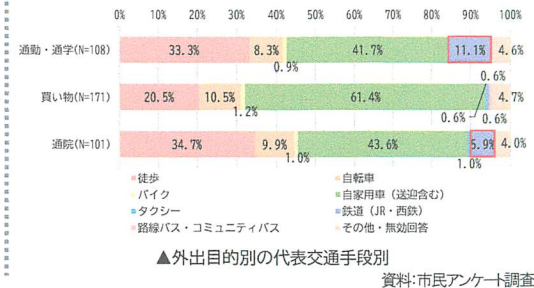
- 二日市東地域では、**運転免許証を約80%の人が保有**しており、約75%の人が自家用車を1台以上保有しています。



- 市全体でみると、**どの目的でも、自家用車での移動が多く**、日常生活において自家用車への依存が高くなっています。



- 二日市東地域では、**通勤・通学や通院では徒歩と自家用車での移動が多くなっています**。また、**市全体と比較して、鉄道での移動が多い**です。



- 通勤・通学での目的地は、**福岡市が最も多く**、次点で筑紫野市内が多くなっています。
- 買い物での目的地は、**イオンモール筑紫野とゆめタウン筑紫野が最も多く**、次点で**レガネット朝倉街道**が多くなっています。
- 通院での目的地は、**市内では福大筑紫病院が多い**一方で、**福岡市へ通院されている方も多い**状況です。

順位	通勤・通学の目的地	回答数	順位	買い物の目的地	回答数	順位	通院の目的地	回答数	
1	福岡市	40	1	イオンモール筑紫野	51	1	筑紫野市内	12	
2	筑紫野市内	18	2	ゆめタウン筑紫野	51	2	福岡大学筑紫病院	8	
3	太宰府市	6	3	にしてつストア レガネット	39	3	安田病院	5	
4	大野城市	5	4	筑紫野市内	28	4	高山病院	4	
5	鳥栖市	4	5	マルキョウ	21	4	済生会二日市病院	4	
6	小郡市	4	6	ドラッグストアコスモス	18	-	その他	32	
7	糟屋郡粕屋町	2	7	ルミエール	16	1	福岡市	14	
7	春日市	2	8	ドラッグストアモリ	3	2	太宰府市	5	
7	久留米市	2	9	TRIALsmart筑紫野店	2	3	久留米市	3	
	その他(回答数1件の目的地)	9	9	ダイレックス	2	3	大野城市	3	
	回答者数	92	市外	1	太宰府市	7	3	小郡市	3
			市外	2	福岡市	3	6	春日市	1
			その他			6	1	佐賀市	2
			その他(回答数1件の目的地)			11	2	鳥栖市	1
			回答者数			163		その他(目的地不明)	8
								回答者数	86

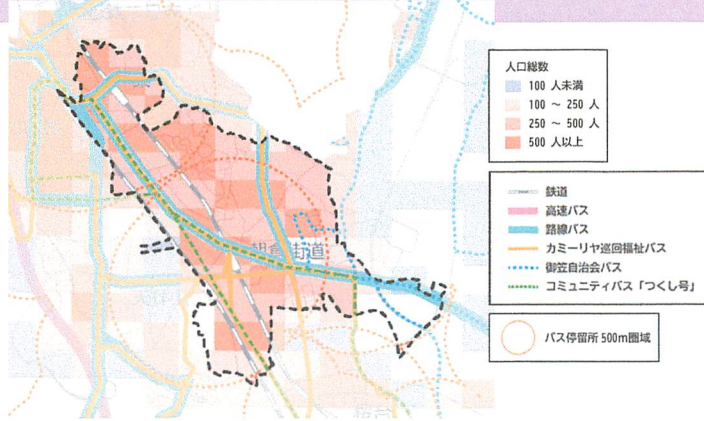
▲ 外出目的別の目的地(二日市東地域)

資料: 市民アンケート調査

## 公共交通の現況

### 公共交通サービス

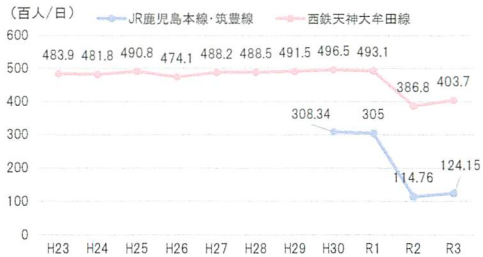
- 二日市東地域内は、**鉄道**（JR鹿兒島本線・筑豊本線、西鉄天神大牟田線）と**路線バス**、**コミュニティバス「つくし号」、カミーリヤ巡回福祉バス**が運行しています。
- バス停の500m圏域をみると、人口が分布している地域をおおむねカバーしています。



▲ 人口分布メッシュ・バス停留圏図

### 公共交通の利用状況

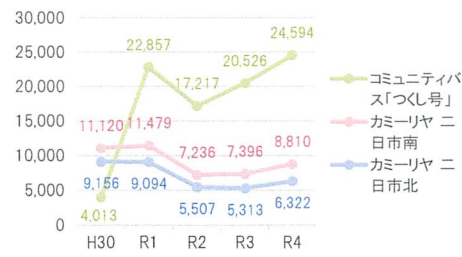
- JRと西鉄ともに令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、**利用者が減少したまま、戻っていない**状況です。



▲ 鉄道(JR・西鉄)の利用者数の推移

※JRのH23～H29の数値は非公開 資料:国土数値情報

- コミュニティバスの利用者数は、令和2年度に減少したものの増加傾向にあります。**一方で、**カミーリヤバスの利用者数は微減傾向にあります。**



▲ コミュニティバス・カミーリヤバスの利用者数の推移

※コミュニティバス「つくし号」は、H31.1月から運行開始 資料:市資料

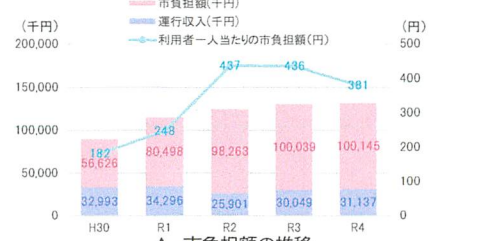
### 公共交通事業の現状

- 各交通事業者において、**運転手不足が喫緊の課題**であり、福岡県では公共交通事業者を含む運輸業・郵便業の労働者数は減少傾向にあります。



▲ 運輸業・郵便業の労働者数・平均年齢の推移(福岡県)

- 利用者一人当たりの市負担額は、令和2年度以降、**微減傾向**にあります。一方で、**市負担額は増加傾向**にあります。

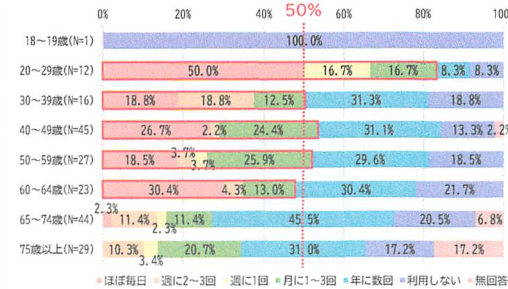


▲ 市負担額の推移

※コミュニティバス・カミーリヤバス・御笠自治会バス・行政支援路線の合計

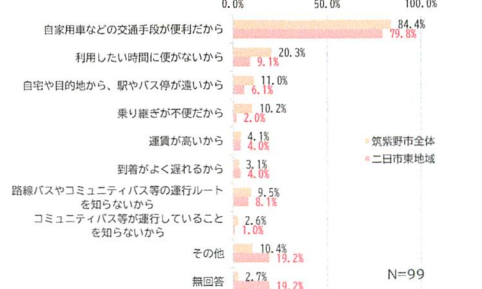
### 二日市東地域の公共交通の利用実態(資料:市民アンケート調査結果)

- 二日市東地域では、**20～64歳の約半数以上の方が、月に数回以上、公共交通を利用されている**状況です。



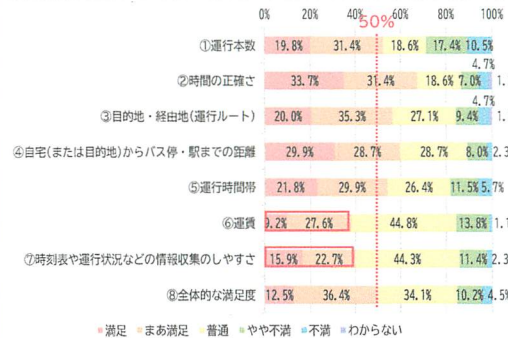
▲ 公共交通の利用頻度(二日市東地域 年代別)

- 市全体と比較して、**自家用車などの交通手段が便利という理由で、公共交通を利用しない方が多い**状況です。



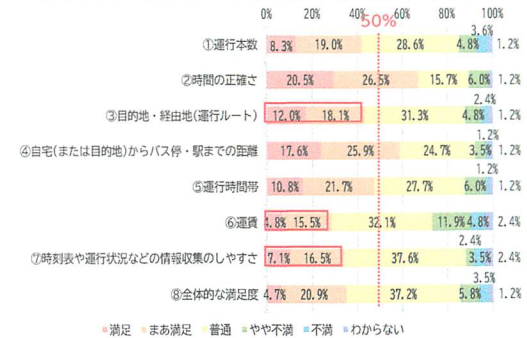
▲ 公共交通を利用しない理由(複数回答可)

- 公共交通利用者の満足度は、まあ満足されている方が半数以上ですが、**運賃や情報収集のしやすさについては満足度がやや低くなっています。**



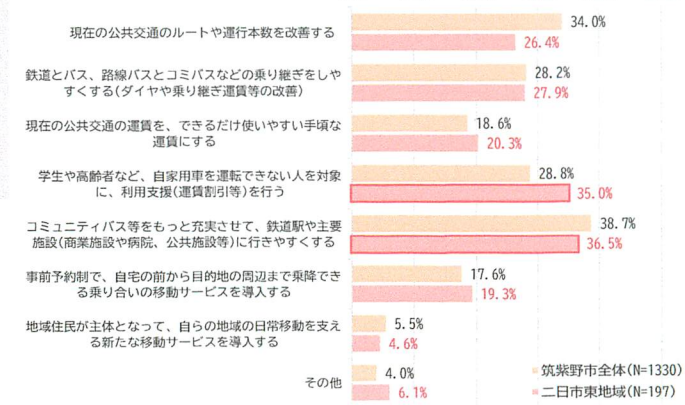
▲ 公共交通の満足度(公共交通利用者) ※無回答を除く

- 公共交通非利用者は、公共交通利用者より、やや満足度が低く、特に**運行ルートや運賃、情報収集のしやすさが低くなっています。**



▲ 公共交通の満足度(公共交通非利用者) ※無回答を除く

- 市全体と比較して、二日市東地域では、**「自家用車を運転できない人を対象とした利用支援を行うこと」や「鉄道駅や主要施設に行きやすくすること」が、今後の公共交通の取組として望ましい**と考えられています。



▲ 日常生活を便利にするために、望ましい公共交通の取組